

教職教育開発センターの動向

瀬尾 美紀子

教職総合センターは、在学生の教職課程の履修と教職志望学生および卒業生の教職キャリアを総合的に支援するセンターとして、2025 年 4 月に新たに設立された。センター設立の目的は、女子総合大学として多くの学科の教職課程を有する本学ならではの教員養成の伝統と実績に基づき、本学教職教育を全学組織的に支援することである。

本稿では、これまで教職キャリア支援を担ってきた、旧教職教育開発センターの 2024 年度の取り組みを報告するとともに、新教職総合センターの 2025 年度の方針について紹介する。

1. 2024 年度の現職教員と教職志望学生への支援

（1）現職教員への支援

現職教員の教育力向上を支援する事業として、2024 年 6 月 14 日に「カリキュラム・マネジメントを実施する上での危機管理研修」と題したワークショップを宮崎県延岡市教育委員会と連携して同市社会教育センターにて実施した。担当講師は教職教育開発センター専任の坂田仰教授に加え、外部から学習院大学の黒川雅子教授、戸田恵蔵氏（銀座第一法律事務所）をお迎えした。

（2）教職志望学生への支援

1）2024 年度前期

2024 年度教員採用試験対策講座を、2023 年秋より開始し 2024 年春に終了した。全国的に広がりを見せている大学 3 年次選考に対応するため、前年度より 1 クラス増の 7 クラスを開講し、受講者は 88 名（幼 9、小 58、中高 21）であった。うち新 3 年生は 23 名（小 15、中高 8）であった。2024 年 8 月には、二次試験直前対策講座を自治体および学校段階別に 10 クラス開講した。受講者は 1 次試験に合格した 58 名（既卒者含む）であった。

2）2024 年度後期

2024 年 10 月 20 日に目白祭と同日開催の催しとして「卒業生（現職教員）と教職志望学生との交流会」を実施した。2024 年 11 月 21 日には、「教員採用試験ガイダンス」を実施した。その後、2025 年度教員採用試験対策講座を開始し 2025 年 4 月に終了した。2025 年 2 月 8 日には、公開講座「教員採用試験入門～教職を志す皆さんへ」を実施し同日に「教職志望学生と卒業生（現職教員）との懇談会」を実施した。

教職志望学生への支援については、教員採用試験対策講座の受講の有無にかかわらず個別相談にも応じており、2024 年度の相談件数は 434 件（のべ数）であった。

2. 2025 年度の方針と展望

新教職総合センターでは、新たにカリキュラム部門、教育実習部門、教職キャリア部門とそれらを統括する管理部門を設けて、教職課程および教職キャリアに関わる各種事業や業務を実施している。部門制を設けた背景の1つには、近年の教育界の大きな変化と、それにとまなう教職をめぐる状況の変化がある。それぞれの部門において、文部科学省をはじめとする各種の学内外の情報をもとにしながら、近年激しい変化を見せている教職をめぐる課題について具体的に検討し、迅速かつ柔軟に対応していくことをめざしている。

幸いなことに、現時点において、本学では教員免許取得を希望する学生数、教職を志望する学生数に大きな経年変化は見られず、いわゆる教職離れは起きていない。未来の担い手を育てる学校教員に魅力を感じる学生の志を大切に、各学科と教職総合センターに関わる教職員が一丸となって支えていきたい。

(せお みきこ 教職総合センター所長)